

セミナー企画書

山田真由子/山田真由子社会保険労務士事務所 代表

(電話) 090-8446-5514

(メール)officeyamada@nifty.com

【タイトル】

介護現場で守るべき個人情報とプライバシー保護の実務

～信頼される事業所になるための基礎とケース対応～

【参加者対象】

- 管理者・サービス提供責任者
- 介護職員（訪問・通所・施設）
- ケアマネジャー
- 事務職・相談員
- 個人情報の取扱いに不安のある事業所

【参加者が得られるメリット】

- ▶ 個人情報とプライバシーの正しい違いが理解できます。
- ▶ 介護現場で起こりやすい情報漏洩の具体例と防止策が整理できます。
- ▶ 利用者・家族との信頼関係を損なわない対応方法が分かります。
- ▶ 実際に起きたケースを通して、現場での判断基準が身につきます。
- ▶ 全職員が共通認識を持つためのルールづくりのポイントが理解できます。
- ▶ 法令遵守とサービス品質向上を同時に実現できます。

【コンセプト・概要】

日常の何気ない会話やメモの扱い方が、信頼低下やクレーム、法的責任につながることもあります。本セミナーでは、個人情報とプライバシーの基本、関連する法令、介護現場で起こりやすいリスクと改善策を整理し、ケーススタディを通して実務で使える判断力と行動を身につけられるように構成しています。

【内容】

（１）介護現場で求められる個人情報保護の基本

- ▶ 個人情報とは
- ▶ 要配慮個人情報とは
- ▶ プライバシーと個人情報の違い
- ▶ 介護現場が抱えるリスク（漏洩・誤伝達・不用意な会話 など）

（２）個人情報を守る理由（７つの視点）

- ▶ 利用者の信頼
- ▶ 法令遵守
- ▶ 情報漏洩の防止
- ▶ 人権の尊重
- ▶ 法人の社会的信用
- ▶ 職員間トラブル防止
- ▶ 安心して利用できる環境づくり

（３）介護事業所に関わる主な法令と義務

- ▶ 個人情報保護法
- ▶ 社会福祉士及び介護福祉士法における守秘義務
- ▶ 介護事業者求められる体制とルール

（４）現場で起きる“ありがちな場面”と改善策

- ▶ 利用者情報の誤った共有・伝達
- ▶ 職員間の不用意な会話や私語による漏洩リスク
- ▶ 書類紛失・管理ミス
- ▶ 緊急時の情報伝達トラブル

（５）ケーススタディ

- ▶ 利用者情報を誤って共有してしまったケース
- ▶ 家族に聞かれた職員の会話
- ▶ 介護記録の紛失
- ▶ 救急搬送時の情報不足

（６）今すぐできる個人情報保護の実践行動

- ▶ 書類管理の徹底
- ▶ 会話する場所や内容への配慮
- ▶ SNS 投稿ルールの再確認
- ▶ 情報の持ち出し管理
- ▶ 迷ったときに相談できる体制づくり

所要時間：90 分～180 分程度（ご要望時間にあわせカスタマイズ可能）

参加特典：当日のセミナー資料（PDF 版）を希望者に進呈